

新しいGANSEKI: システム更新と機能強化 New GANSEKI: Major System Revision and Improved Usability

富山 隆将^{1*}, 市山 祐司¹, 堀川博紀¹, 佐藤 悠介¹
Takayuki Tomiyama^{1*}, Yuji Ichiyama¹, HORIKAWA, Hiroki¹, Yusuke Sato¹

¹ 海洋研究開発機構
¹JAMSTEC

海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の研究船や探査機により、毎年数百個の岩石サンプルが採取されている。深海底は、研究者単独ではアクセスが困難な場のひとつであり、これらの岩石サンプルは、利用可能な数量の上でも、採取に必要なコストや技術の上でも、貴重である。近年では深海の有用鉱物資源の探査やその利用を視野に入れた研究も注目されており、深海底の岩石には、社会の各方面から自然史的な知識の探求のみに留まらない興味を寄せられている。

JAMSTEC の岩石サンプルやその関連データを有効利用するためには、航海当時の研究課題だけにとらわれず、広く一般の研究・教育を目的とした二次利用に提供することが大切である。そのため、JAMSTEC は、岩石サンプルやその関連データの保管・管理に取り組み、国内外の研究・教育や、報道・広報などの企画への提供を行ってきた。岩石サンプルと関連データの公開は、インターネット上に開設されたデータベース「深海底岩石サンプルデータベース (GANSEKI) [1]」を通して行われており、2006 年度の運用開始以来、掲載データやサンプルの拡充と機能強化が進められてきた。

JAMSTEC におけるこのような取り組みは、岩石サンプルだけでなく、コアサンプルや生物サンプル、航海・潜航情報や映像データなど、多岐にわたる。データベースの利便性の向上と用途の拡大には、それぞれのデータベースが密接に連携することが重要である。2012 年度には、旧「JAMSTEC 観測航海データサイト」を置き換える形で機能強化された「航海・潜航データ探索システム (DARWIN) [2]」が公開され、種々のデータ管理の変化に呼応する形で、GANSEKI にも大幅な改修が加えられた。

これまでの GANSEKI は、サンプルの取得情報 (メタデータ) や保有情報 (インベントリデータ)、化学分析データや画像データを公開する仕組みを備えており、国際的岩石化学ポータルサイト "EarthChem [3]" との連携などを進めてきた。しかし、旧システムは、各サンプルに関連する航海・潜航情報データベースとの連携や、多様な分析データへの対応、画像データの閲覧性などの点では、改善の余地が大きかった。今回行われた GANSEKI の改修は、システム部分の置き換えを伴っており、管理側・ユーザー側ともにインターフェースが一新され、データの検索性と閲覧機能が大幅に強化された。新しい GANSEKI では、DARWIN を始めとする複数の WEB サイトの参照、分析データの数値検索、薄片写真やサンプル写真などの画像検索などを、より快適な操作で行うことができるようになり、一層利便性が高いものとなっている。

参考: [1] 「深海底岩石サンプルデータベース (GANSEKI: Geochemistry and Archives of Ocean Floor Rocks on Networks for Solid Earth Knowledge Information)」<http://www.godac.jamstec.go.jp/ganseki/>. [2] 「JAMSTEC 航海・潜航データ探索システム (DARWIN: Data Research System for Whole Cruise Information in JAMSTEC)」<http://www.godac.jamstec.go.jp/darwin/j>. [3] "EarthChem" <http://www.earthchem.org/>.

キーワード: 岩石サンプル, キュレーション, データベース, 海洋底
Keywords: rock sample, curation, database, seafloor